

広聴会資料

長崎市議会議員 井上 重久

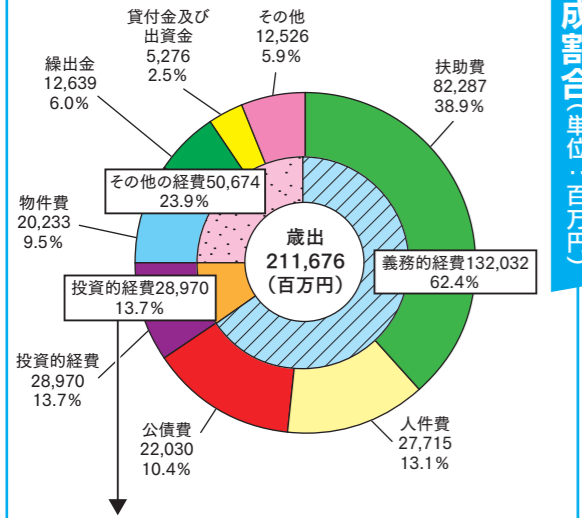
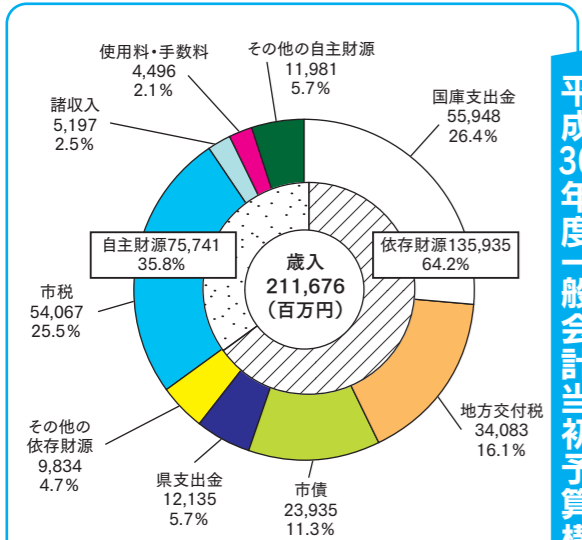
主な内容

- 1.平成30年度長崎市一般会計予算
平成28年度決算(普通会計)
- 2.長崎市の今後の主なまちづくり事業



1 平成30年度長崎市一般会計予算(6月補正後)

2,116億7,635万9千円

 (6月補正含む)


区分	予算額(百万円)
平成26年度当初	21,242
平成27年度当初	26,496
平成28年度当初	22,633
平成29年度当初	20,029
平成30年度6月補正後	28,970

2018年度長崎市一般会計予算の主な事業

項目	事業名	予算案額
新市庁舎	★新市庁舎建設工事等	3億1,800万円
	★交流拠点施設整備事業	71億2,420万円
長崎駅周辺	九州新幹線西九州ルート建設事業負担金	5億4,430万円
	土地区画整理事業(長崎駅周辺)	4億3,670万円
	長崎駅中央通り線	2億900万円
	JR長崎本線連続立体交差事業負担金	15億3,150万円
企業誘致	企業立地推進費(企業立地奨励金)	4億1,334万円
	ものづくり支援費	2,404万円
農林・水産	担い手農家支援施設整備に支援	6,209万円
	有害鳥獣対策に助成	7,403万円
	新水産業収益性向上・活性化支援	3,177万円
環境	★新東工場整備調査費	2,710万円
	三共クリーンランド埋立処分場維持管理費	1億5,215万円
	資源ごみ処理費	3億8,908万円
まちづくり	★急傾斜地区崩壊対策	1億5,500万円
	防災行政無線デジタル化整備費	2億8,770万円
住宅	要緊急安全確認大規模建築物	2億420万円
	ながさき住みよ家リフォーム補助金	7,181万円
	住宅性能向上リフォーム補助金	6,507万円
子育て	子ども医療対策費	9億364万円
	民間保育所等施設型給付費	131億7,936万円
	子育て支援センター運営費	5,213万円
教育	仁田佐古小学校舎等建設	7億5,900万円
	外海中学校舎等建設	9億6,890万円
	★高校生等入学給付金	2,591万円

特定戦略「交流の産業化」による長崎創生

項目	事業名	予算案額
世界遺産	明治日本の産業革命遺産保存整備費	1億4,000万円
	長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連登録推進費	4,404万円
	世界遺産観光客受入費	8,175万円
まちづくり	市街地再開発事業費新大工町地区	8億5,980万円
	★景観まちづくり刷新事業費南山手地区	2,000万円
その他	景観まちづくり刷新事業費夜間景観整備	3億8,500万円
	長崎市版DMO推進費	3,957万円
	★地域コミュニティ推進交付金	2,260万円
	車みち整備事業費	1億9,000万円
	★恐竜博物館建設整備費	1億3,280万円
	★地域商社育成支援費	1,929万円
	★交流の産業化リーディング事業費	1,019万円
★若年者雇用促進費	1,656万円	

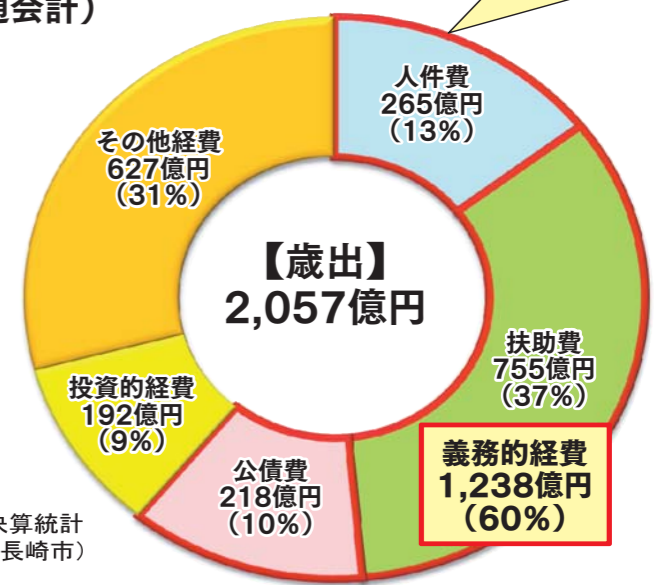
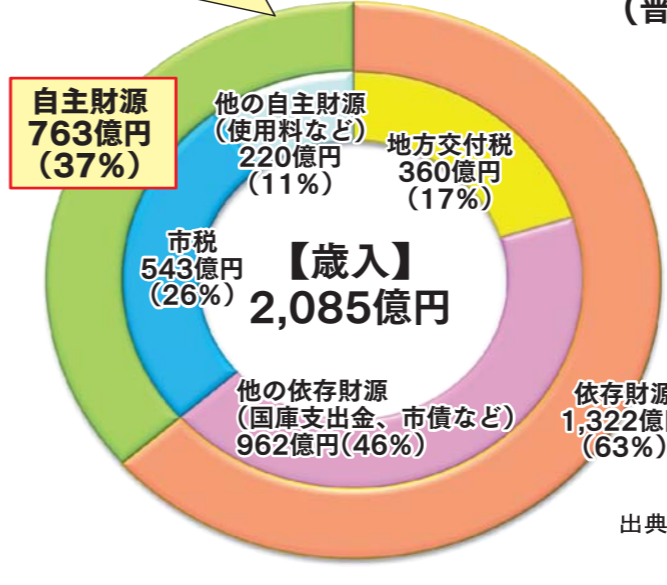
平成28年度決算(普通会計)

厳しい財政状況

- ★歳入: 自主財源の割合が低い ⇒ 市税収入が乏しく、国(交付税)などへの依存度が高い
- ★歳出: 義務的経費の割合が高い ⇒ 自由に使える経費が少ない

【中核市比較】
自主財源の割合: 48位(中核市48市)
・中核市の平均: 51%
・長崎市: 37%

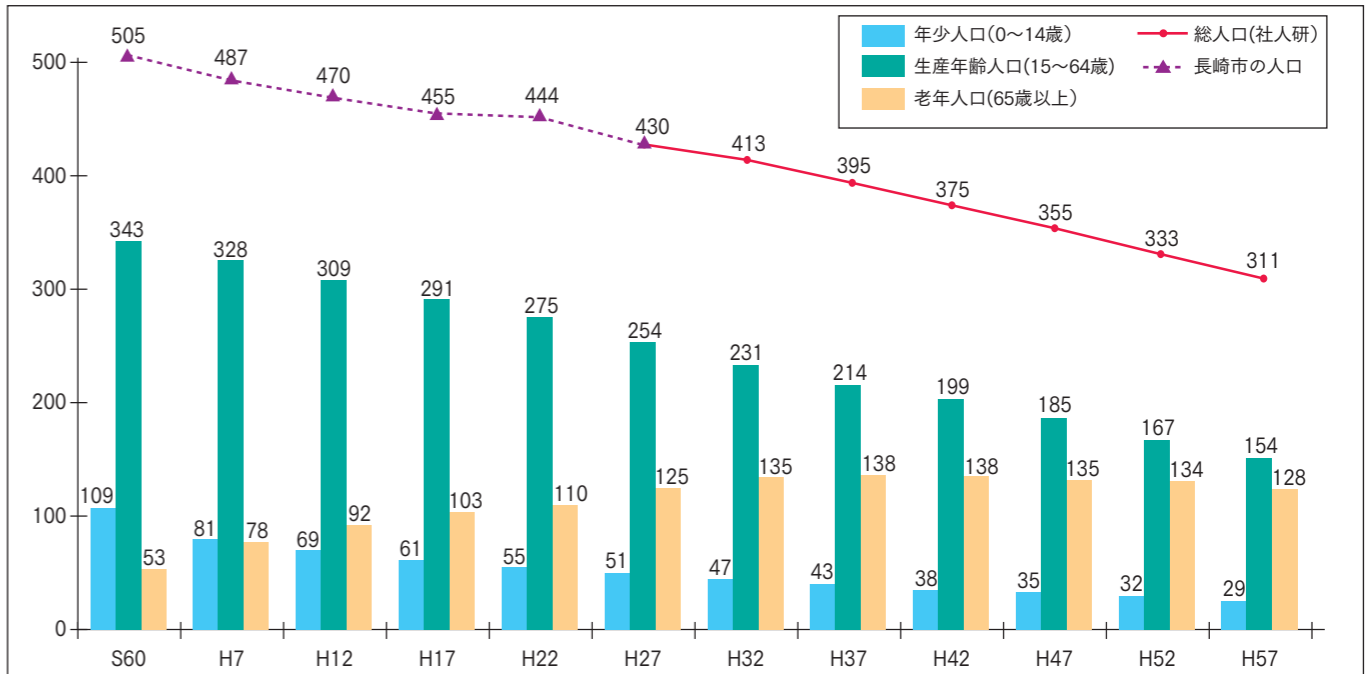
【中核市比較】
義務的経費の割合: 45位(中核市48市)
・中核市の平均: 53%
・長崎市: 60%



出典: 決算統計(長崎市)

人口減少の社会へ

- 高度経済成長期: 昭和27~48年
- バブル景気: 昭和61年12月~平成3年2月
- 第二次ベビーブーム: 昭和46~49年



資料: 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30年3月推計)」

② 長崎市の今後の主なまちづくり事業

1 長崎駅周辺再整備

長崎の陸の玄関が大きく変わります。



特徴的な駅舎、広い駅前広場を整備します。

平成34年度に新幹線がやってきます。



総事業費 約251億円

2 新市庁舎建設

- ・1棟集約による市民の利便性向上
- ・防災拠点としての機能を確保

平成34年度中の完成をめざします。

建設概要

【建設規模】 延べ面積 46,200 m²程度
(駐車場を除く)

【事業期間】 設計(平成29年度～平成30年度)
建設工事(平成31年度～平成34年度)

【建設予定地】旧公会堂及び旧公会堂公園敷地

南東側からのイメージ



1階フロアのイメージ



総事業費 約258億円

3 交流拠点施設整備

- ・新しいお客様を呼び込み、交流を生み出します。
- ・様々な人々が利用でき、多くの賑わいを生み出します。
- ・新たな交流により、長崎を活性化します。

MICE(マイス)※機能を中核とした複合施設を計画しています
※国内外から多くの人が集まる企業等の会議や学会、イベント等の総称



MICE機能 + 民間施設

MICEを開催するための施設(公設民営) より多くの人たちが利用できる施設(民設民営) ※施設のイメージ

総事業費 約216億円

4 新大工町地区市街地再開発事業

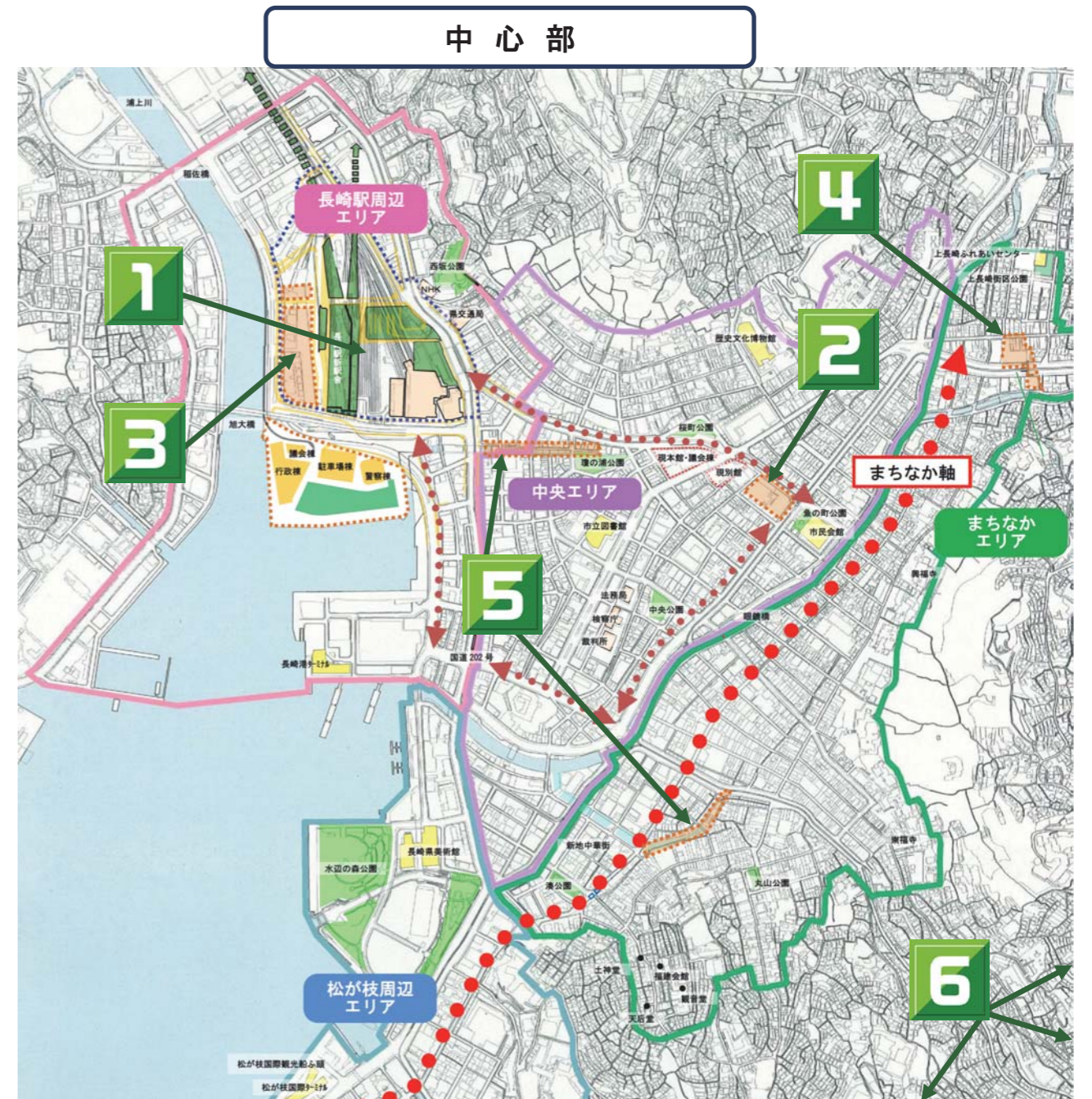
- ・再開発組合が「長崎を感じ、いつ来ても楽しい発信力のあるまちづくり」に取り組んでいます。

3つの柱:「食文化発信」「歴史と文化伝承」「多世代交流型商店街の創造」

・平成33年度の完成を目指しています。



総事業費 約164億円



5 プロムナード整備

- 川の上の建物を撤去し、川をオープンにするとともに、周辺の道路もあわせて整備する。

川沿いを散歩したり、沿道のお店で食事などを楽しんだりできるような、賑わいのある通りにする。



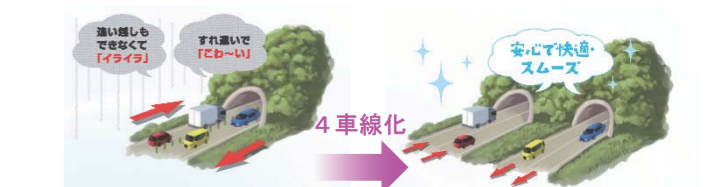
一部区間 平成29年度完成

平成36年度 完成予定

総事業費 約48億円

6 長崎自動車道などの整備

- ・長崎自動車道や日見バイパスが2車線から4車線へ安全・快適に！
- ・南部地域への移動がより早く、快適に！



総事業費 約650億円